

野村玉枝 のたまき 歌人。明治四十四年六月二十一日富山縣西礪波郡東太
美村生乳（一九二一）。舊姓吉井。昭和七年富山高等女學校高等科卒。
翌年上京、佐佐木信綱の師事して歌誌『心の花』の歌作發表。十年結
婚と、十二年應召の夫は中支湖北省にて戦死。十五年東京特設中等教
育養成所公學び、戦後富山縣立福野高等学校公勤務。

歌集『雪華』（昭和十六年四月二十五日湯川弘文社「心の華叢書」）、
『一筋の道』（昭和二十年四月二十日八雲書店）、歌文集『御羽車』
（昭和十七年二月十五日六興商會出版部）、隨筆集『石南花の日記』（昭
和二十八年十一月三日短歌新聞社）刊。

